

# イノシシは「猪突猛進」？

農協のATM前で。

惣吉：大金下ろしてパチンコけ？

寅次：そっだら暇なかんべよ。

そういや、惣やんとこの裏の田んぼさ、車がつっぱいって\*なかったけ？

惣吉：あれ、新田の佐藤さんとの息子んだわ。

寅次：あーそうけ。あのせがれ、いつも飛ばしてっからな。

惣吉：イノシシ年だっつうから、止まれないんだべ。

寅次：おっかねーわな。まったく。

\*つっぱいる：突っ込む

鳥  
獣  
新  
聞

第2号  
もくもく入道雲号

## 「イノシシ = 猪突猛進」は誤解です

世間一般では、イノシシというと「猪突猛進」のイメージで語られます。そして、イノシシ年の方は、思い立ったらそのまま一直線、などと言われます。

しかし、本当のイノシシは警戒心が強く、大変用心深い動物です。なかなか人前に姿を現すことはありません。テレビなどで、ひたすら全速力で走っている姿や、こちらに突進してくる姿が放映されますが、これは人間に追われて必死に逃げているところであって、ふだんはもっと静かに生活している動物です。

あなたも森の番人に！  
～自然にやさしい「狩猟」講座～  
大好評でした

前回お知らせしたこのイベントは、6月2日に開催したところ、約200名の参加を得て好評をいただきました。多数のご参加ありがとうございました。



イノシシ鍋の試食

発行：鳥獣新聞編集部（栃木県自然環境課内）

028-623-3261 FAX028-623-3212

ご意見、ご要望などお待ちしております。

無断転写、複製、転送、公開、掲示、配布など大歓迎！





夜中にヌタ場（泥浴び場）に出てきたイノシシ  
（森林総合研究所永田氏 無人センサーカメラで撮影）

# まずは敵を知ろう

イノシシの本当の姿を知らないままでは、効果的な対策がとれません。  
今回は、知られざるイノシシの姿を紹介します。

## けっこう賢い

イノシシには学習能力があることが、実験によりわかっています。見慣れないものがあると必ず立ち止まり、臭いなどを確かめしてから次の行動に移ります。決してやみくもに突っ込んだりしません。このため、簡単な電気柵でも、被害対策としては効果があります。

## 鼻がよい

イノシシの鼻はよく利きます。鼻を使って土の中の餌を探したり、外敵の気配を察知したりします。では、何か嫌いな臭いを畑に撒いたらイノシシが来なくなるのでは、と考えるところですが、そのような臭いは今のところ発見されていません。人間の髪の毛などを下げておくと、一時的に来なくなることもあるようですが、すぐに慣れてしまいます。

## 何でも食べるが、うまいものに執着する

イノシシは、イモ類や植物の根、竹の子、どんぐりなどの植物類から、ミミズやイモムシ、カエルなどの動物類まで、様々なものを食べます。特に、田畑で作られている作物は、消化がよく、おいしいものばかりですので、一度味を覚えると頻繁に出てきて食べるようになります。

## 子供がたくさん生まれる

毎年4～6頭生まれます。おいしい農作物を食べさせることは、健康な子イノシシをたくさん産ませることに繋がります。

参考文献 「イノシシから田畑を守る おもしろ生態とかしこい防ぎ方」農文協発行



害獣イノシシをおいしく食べてしまおう！

-狩猟免許試験日程と会場-

7/18（宇都宮・大田原・佐野）

8/26（宇都宮・大田原）

12/12（宇都宮・鹿沼・佐野）

（12月はわな猟のみ）

詳しくは各林務事務所へ

猟友会では、事前に予備講習会を開催しています。